

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市台原老人福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 31,614人(前年度比 92.6%) 令和5年度 34,130人 令和4年度 31,398人
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 69,351千円(73,750千円) ・ その他市が負担した費用 5,555千円(0千円) ()は前年度決算額
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円(0千円) ・ その他収入 0千円(0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 令和7年2月に利用者アンケートを実施。その他にも利用者向けに意見箱の設置や苦情解決相談窓口の設置など、利用者の提案内容や要望等に耳を傾けながら事業運営を行っている。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	25/25
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
施設利用状況について、令和6年度の延利用者数は、前年度比で8.0%減少した。これは、令和6年10月17日（木）からボイラー設備の故障により入浴設備が利用できない状況となり、令和7年3月までその影響が続いたため、入浴目的の利用者が減少したことが主な要因と考えられる。 令和6年度の事業実施状況については、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行したことに伴い、令和5年度に引き続き、施設運営や各種事業の見直しを行い、利用制限の緩和に努めた。個人利用では、1・3階ロビーや2階和室の飲食制限を解除し、Free Wi-Fiの利用を可能とした。団体利用では、貸室の定員制限を撤廃し、貸室内での飲食を可能とするなど、より多くの利用者が施設を利用できるよう配慮した。 主催事業では、新規事業としてニュースポーツ吹矢体験教室を開催し、参加者からは「初めての体験だったので不安もあったが、わかりやすく、楽しかった」との声が寄せられた。また、コロナ禍以降約4年ぶりに台原交流祭を開催し、活動団体の成果発表や交流の場を提供することで、高齢者の生きがいづくりや世代間交流の促進を図った。さらに、併設の台原地域包括支援センター、台原デイサービスセンター、台原居宅介護支援センターと共同で健康づくり教室を開催し、それぞれの特性や強みを活かした企画運営に努めた。 今後も、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域福祉の向上に努めていきたい。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の施設運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。 利用者数については、ボイラー故障による半年間のお風呂の利用中止の影響で減少したものの、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことを受け、前年度に続き施設の使い方や事業内容の見直しを行い、利用制限の緩和に取り組んでいる。特にロビーや和室での飲食制限の解除や、Free Wi-Fiの導入等、個人利用や団体利用それぞれの利用者のニーズを踏まえた利便性を高める取り組みを実施している点は高く評価できる。 上記に加え令和6年度は4年ぶりに台原交流祭を開催し、愛好会等の発表や利用者交流の場を設けたほか、併設施設とも連携した健康づくり教室の開催するなど利用者の生きがい・健康づくりに寄与する取り組みを積極的に行っていると言える。 また令和6年度においても前年に引き続き仙台市主催のeスポーツ教室の運営への協力を行っている。 以上の内容から、台原老人福祉センターの令和6年度の運営は、総合的に高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課